

狭山中学校区

「市全体の将来像について（第2回より）」

■ 交流・つながりに関する意見

- 近所の人たちと笑顔を交わせるような優しいまち。
- 子どもが伸び伸びとし、高齢者との交流ができるまち。
- 人との”つながり”をもっと持てるまちにしていきたい。
- コンパクトで顔が見えるまち。
- 子どもから大人までのつながりがある場所。
- 地域による温度差を解消されたまち。
- 人と人とのつながり、まちと人とのつながり、市民同士（多世代間）の交流の場があるまち。
- 環境や社会情勢が変化しても、つながりを大切にしたい人の心は変わらないまち。
- 協力し合う人が集うまち。

■ 住みやすさに関する意見

- 暮らしの拠点としての住みよい環境。
- 良い点を残し、課題を克服し、コンパクトで、ネットワークの充実した住みたいまち、行きたいまち、選ばれるまちとして持続的に発展することで都市価値の向上につなげていきたい。
- 住みやすいまち、日本一。
- 住みよい、完全な住宅地域の市とする。
- すべての人にとって「住みやすい」まちにする。
- 市街化調整区域が多く、これを市街化し住宅地を開発、税収も増える。
- 安心して、一生住めるまち。
- 新しい魅力を創出するまち。
- 「このまちが好き！」と言える人がたくさんいるまち。

■ 子育てしやすいまちに関する意見

- 子育てを中心に生活を行うのに最適なまちをめざす。
- 子育てしやすいまちづくり。

■ 若い世代、子どもが住みたいと思うまちに関する意見

- 子どもたちが将来大人になった時、住みたい、関わりたいと自然に思うようになるまちにしたい。
- 若い世代がたくさん住み、その子どもも生き生きと生活しているまち。

■ 自然に関する意見

- みどり豊かで、教育に力を入れているまち。
- 狭山池の魅力をより一層高めるための努力。

■ 市民と行政等の協働に関する意見

- 市民と行政との風通しがよい仕組みができたまち。
- 行政と市民、親と子、高齢者と若者がつながる住みよいまち。

■ 歴史・伝統文化に関する意見

- 狭山の伝統文化が大事にされているまち。
- 歴史文化遺産を活用したまち。

■ その他

- 規制・誘導のまちづくりから地域・地区に応じたまちづくりへ。
- 医療の充実したまち。
- スマート・コンパクトシティの実現。

狭山中学校区の「まちの課題」と「取り組みたいこと」

(第5回より)

項目	まちの課題	取り組みたいこと
まちの PR、知名度 UP	○ 大阪狭山市の歴史的な文化的遺産となるべき場所、家屋等の保存が不十分。 ○ 行政サービスの取組みが市民に伝わっていない。 ○ イベントの情報発信を行う。(媒体の力不足) ○ 狭山池の活性化(美味しいお店やホテルといった施設の誘致) ○ 観光資源の発掘。	○ 観光課の創設、市民の登用。 ○ 市外への広報の充実(関係人口へのアプローチ) ○ まちの全ての情報が集まってくるような拠点をつくる。 ○ 多世代の市民が見てもらえるように情報発信の媒体を増やす。
まちづくりの担い手	○ 世代間の交流が少ない。機会が少なく、コミュニケーションが不足。 ○ まちづくり活動団体のダブリと多さ(→整理→予算の適正化) ○ 市外勤務の方がまちのことを知らず、まちづくりに関心が持てない。	○ 地域の活性化。(→地域あげての取組み→地域の多くの方々への参加意識向上) ○ 次世代の地域のリーダーづくり。 ○ 若年時、まちづくりの活動をしていた人材の再発掘。
災害対策	○ ボランティアの受け入れが物理的に不可能。 ○ 災害呆けしている現状打破(→危機感の無さを解消)	○ 災害ボランティアは、継続、反復した活動が必要。
まちの開発	○ 市街化、市街化調整区域の混在。 ○ 地域活性化への取組不足。 ○ 学区全体的に、既存設備の見直し、新たな誘致、再開発が必要。施設の老朽化。 ○ 狭山駅前近辺の不便さ。 ○ 道路が狭く、大部分で救急車や消防車が入らない。 ○ 交通手段が希薄で不便(バス)。 ○ 医者は多いが買い物施設が無い。	○ 自治会活動活性化の検討が必要。 ○ 狭山駅周辺を特別区に指定し、生活に便利な施設、店を誘致すること。支援対策が必要。
空き家	○ 空き家対策が必要。コミュニケーションの不足も一因。	○ 空き家コンシェルジュを配置し、マッチングを行う。 ○ 空き家マップの作成。行政は現状把握と権利関係しか見られないが、地域住民は歴史や人間関係が分かる。
介護問題		○ 超高齢化社会が進行している。共助を優先。 ○ 自分達(家族)でできる介護と(福祉)公的(私的)サービスを受ける範囲の棲み分け→地域で解決。
その他	■ 市民が取り組めること ○ 行政に期待することのうち、市民が取り組めることが無いかを見つけていく。 ○ まちづくり、地域整備に大きな支障となっている 이슈(人・物)の洗い出し。 ○ 補助金に頼らない市民活動。 ■ with 行政 ○ まちの「目安箱」設置 ○ 実現の可否は別として、民意を聞き取るシステムの構築。 ○ 地区会の会員が減少しているので、増やすための努力をする。	